

■向山小学校区 第1回きずなづくりトークの意見概要と方向性

テーマ「地域の実状に応じた防災訓練のあり方について」(※●は市長発言)

6月7日 錦田公民館

発言者	現況・課題	対応策・要望
◆第1部「地域座談会」		
三島パサディナ自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○毎年色々なテーマを持って防災訓練を行っている。 ○起震車などを使うと震災時の状況を共通理解・体験でき評判がいい。 ○今年は消火栓の位置を地区ごとに全員で確認する。時間があれば実際に消火栓をあける体験をしてもらう。 ○高齢者の参加は多いが、一番力になる若い人の参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年の会議で、マンネリ化している、参加が減っているという意見があった。参加者や協力者を増やしていく方法について皆さんで考えて行きたい。(ファシリテーター)
中島町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の防災の位置づけを町内会と同じレベルに引き上げた。名称を自主防災の対策強化委員会とし、委員長は震災被災した場合に指示命令が出来るようにした。 ○同時に女性のリーダーをお願いした。女性を登用し、意見を吸収していく。 ○女性もリーダーになり防災会議に足を運ぶようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○女性の集まりの中でもっと色々な話をしたいという共通の意見が出ている。 ○自助と共助の精神を改良するために、毎月の会合で強くお願いしている。
夏梅木町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○ジュニア防災士育成は一昨年から行っている。非常にいい事だと思う。 	
夏梅木町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○ジュニア防災士は小中学生を対象に行っている。参加者はどちらも10人程度だが、防災士要員を中心に防火水槽がどこにあるか、防災倉庫の中には何があるかなど、町内を回って活動している。 ○防災訓練への子どもの参加が少ない。 ○中学生の受け入れ体制をどうするか考えている。体制を整えないと何もしないで帰ってしまうことも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年は中学生の参加者を増やすため、4月に錦田中学へ伺い訓練の日を伝え応援してもらえようようお願いした。 ○訓練に参加したことを証明できるものを発行するなど、出来るだけ多くの参加を得られるよう取組んでいく。
エコリーダー	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年からジュニア防災士育成をやり始めた。三島市内で現在50人弱が県知事名で認定証を受けている。 ○部活動などの理由で応募者は低迷している。応募枠30人に10人程度の応募数。ぜひ参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○錦が丘では去年の防災訓練(12月の第一日曜)に小中高校生あわせて100人以上出席している。錦が丘の子どもの集め方を勉強したい。

	◇小学校、中学校や幼稚園との地域の防災訓練の関わりについて	
中郷中学校 P T A	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の防災訓練参加は学校も地域も推奨している。 ○子どもたちも大震災の後では災害がとても怖いものだと認識している。防災訓練の大切さも分かっていると思う。 ○部活動や、小学生でもスポーツをやっている子などは、地域の時間にあわせた防災訓練の参加は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もっと地域の防災訓練に参加出来るような条件にする、学校の方で時間を作るなどの環境があるといい。
向山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○地域によって8月または10月に防災訓練を行っている。子どもたちには地域の防災訓練に参加するよう呼びかけている。 ○実際に子どもたちに聞いてみても参加が非常に少ない。 ○子どもたちには自分の命は自分で守る、地域の中で貢献することを教えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の中で防災意識を高め、防災活動に参加する子どもたちを育てていきたい。 ○学校でも協力体制が出来つつあるところだと思う。(ファシリテーター)
大場幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園でも避難訓練は行っている。 ○4歳児14名いるが四月から紙芝居を見るなど段階的に訓練に参加している。 ○幼稚園児の避難は大変なので地域のつながりが大切。去年は南高の生徒と避難訓練を行った。今年度も行う予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生が小さい子の手を引いて逃げるようなつながりがあるといい。 ○小中学生や高校生の防災へのかかわり方が大事になっている。(ファシリテーター)
子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ○仕事を持っているお母さん方も多いので、職場でも子どもが参加出来る環境を作ることが大事。 ○お母さんの関心を高めるような話題が出来る職場環境も必要。(ファシリテーター) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小さいお子さんは人形劇や着ぐるみなど物語的なもの、アニメ、イベントなど楽しいと思えることがあると参加しやすいのではないか。 ○防災訓練の中に柔らかい発想も必要。(ファシリテーター)
北沢町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○今日みなさんに聞いた意見を基にして、早急に指導部の強化をしていきたい。 ○新しいアパートの30軒が参加したがない状況。自治会の活動にも参加したがない若い方をどうやって自治会に取り込んでいくのか困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもは地域の宝事業や、夏祭りなどをきっかけにしたい。 ○今までの経験の中でうまくいった事例を聞かせてもらいたい。
中島町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○町内会自主防災と子ども会と一緒に防災訓練を行っている。 ○8月中旬に防災訓練を行うので、とうもろ 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事ごとに子どもがいかにも楽しめる工夫をしている。

	こしを焼く、どんど焼きが終わったら焼き芋をするなどの取組をしている。	
中郷中学校 P T A	○子どもを連れて歩いているときのほうが地域の人に話しかけられやすい。独身の時にはなかなか声をかけられない。	○若い世代の方を取り入れていくため、若い人にも積極的に話しかけて欲しい。
東大場町内会	○11月の防災訓練までに小中高校生をどうやって受け入れるか、そのための実践訓練とはどういったものが防災委員会で宿題になっている。	○子ども、特に中学生高校生の参加を増やして行きたいと各町内会で知恵を絞っている。(ファシリテーター)
	◇防災訓練と高齢者の問題について	
民生委員	○中区が遅れていると痛感している。 ○昨年「ひだまりの会」を立ち上げた。中区は老人会がない、集まる場所もない、災害時これでは危ないと参加を呼びかけた。町内会長の理解があり中区の公民館を借りて100円会費で活動している。	○中区は地域的に孤立していて買い物弱者もけっこういるので、朝市など行ってもらえたらと思う。
中自治会	○防災訓練は10年やっていない。防災訓練イコール避難訓練と考えると高齢者が一番困る。 ○中地区は液状化の問題もある。 ○避難所が向山小学校になっているが橋が決壊したら避難できない。	○災害時は自宅待機したほうがいいのではないかと。 ○役員と避難所の見直しを図っている。
民生委員	○要援護者は二人しかいない。高齢化が進んでいるが、小さい地区なので誰がどんな状況か把握している。家族的なつながりがある。 ○40軒ほどのマンションがだいぶ前に出来たが、長く住むと顔や名前も分かってくる。	○助けが必要な人がどこに住んでいるか情報共有できていることが一番強い。対象者が少ないこともある。民生委員と自治会長とうまく連携できてない地区もある。(ファシリテーター)
民生委員	○夏梅木の民生委員をやっている。今年630世帯ある中で要支援者を31名ほど市に登録した。 ○他に1人暮らしで要支援はいらないという人が27名いる。高齢者で1人住まいの方は住宅の耐震化はあまり行わない。高齢者の方の避難は難しい。	
多呂自治会	○自主防災の場合毎年委員が代わる。 ○中島町内会の取り組みは町内で自発的に手を挙げて自主防災を募り、その人たち	○先月中島地区の取り組みについて話し合い、町内に諮ることになった。

	<p>を町内会が支援する形だと思う。</p> <p>○専門的な方がついてくれると訓練も身のあるものが出来るのではないか。</p>	<p>○色々問題はあるがサポートしてくれる方が複数年に渡ってやってくれる仕組みを考えていきたい。</p>
◆第2部「市長との座談会」		
市長	<ul style="list-style-type: none"> ●まもなく県から東海地震級、南海トラフ級の被害想定が出される。 ●救急車はまず来ないと考えて欲しい。三島市内に4台しかなく、道も阪神淡路大震災時は8m以下の道路はすべて通れなくなった。 ●岩手県の山田町役場の横にてんでんこの碑（津波はてんでばらばらに逃げろという教訓の碑）があるが、それでも800人あまりがなくなってしまった。助かった人は日頃防災訓練に参加している人だった。 ●自らの命は自ら守る、地域は自分たちで守る意識が大事。 ●防災訓練がマンネリ化しているという声もあるが、基本が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物の下敷きになった場合の救出救助は自主防災会の役割。 ●住民が危機意識を持ち防災訓練にも参加する方法を考えて欲しい。 ●小学生はPTAを通じて親子で参加する働きかけができる。 ●中学生は部活があるので学校との連携が必要。ある中学校区は年度初めに各町内会の防災訓練の日程を聞いて、それを生徒に渡し、参加した場合は証明書を出している。 ●高校生は県の教育委員会から参加証明書をもらってくるように指導している。 ●中学生も高校生も戦力。工夫をして欲しい。
中島町内会	<p>○個の尊重がネックになっている。運動会や祭りが一つのバロメーター。熱心な町内はコミュニケーションが取れている。</p>	<p>○住民の触れ合いの場をいかにもうけていくか。</p>
北沢町内会	<p>○自治会活動に参加したがる30戸は管理組合が会社にすべて任せてあるということで、広報みしまも回覧板もいらないという。どのように接触していけばいいのか。</p> <p>○大震災があったら困るだろうと名簿を出してもらったが、それ以上は踏み込めない。</p>	<p>○30軒中子どもがいるのは6世帯のみだが4軒が子どもは宝事業に応募してくれた。</p> <p>○夏祭りで子どもを紹介するなどの取組を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもは宝事業が一つの切り口になる。
◇震災時の災害弱者への対応について		
子ども会	<p>○子どもは地域の宝事業で予算をいただき、台車を2台購入した。日頃の活動以外にもお年寄りや災害弱者の方を助けるのに使用してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●台車やリヤカーが有効ということで、防災倉庫にリヤカーを置いている町内が結構ある。

市長	<ul style="list-style-type: none"> ●中島の例では自治会と別に防災隊を作り、毎月自主防災会の素人の方の指導をする。 ●柳郷地の自主防災会は消防団のOBを中心に、防災組織の横に救助隊や消防隊などを作り、専門的な立場から応援してもらう組織作りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●芙蓉台の町内会は老老で助け合おうということでリタイアした人でチームを作り、1ヶ月に1回足の弱い方などをサポートする訓練を行っている。 ●坂が多いので特別な担架をいくつか用意して訓練を行う。
夏梅木町内会	○組長が班長になっていて教育がうまくいかない。色々な行事に参加してもらうのだがどうしても参加率が悪い。	●夏梅木は町内も大きく消防団のOBもかなりいるので、工夫されたいと思う。
中自治会	<ul style="list-style-type: none"> ○何をやっても参加率が低い。参加する意識が低く大変困っている ○6月23日はお祭りがあり子ども会が中心に行う。10月、1月には神社のお祭りがある。 ○ひだまりの会は昨年9月から15~20名が集まって話や歌をしている。レインボーの3期生が主になってやっている。 	●色々悩みはあると思うが、皆さんの知恵を借りて、またお祭り、運動会を中心にして、きずなを深めていくしかないのかなと思う。
夏梅木町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○丘に住宅がある。三島は西風が吹くので、下で火が発生すると上に上ってくる。 ○可搬式ポンプが1台、消防団の消防車が1台ある。震災時、消防車は丘を登ってくるのは困難。可搬式ポンプは手で丘の上に引っ張り上げなければいけない。防火水槽は2箇所、公民館と向山小学校にあるが上のほうにはない。もし火災が発生しても消火手段がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年は出来るだけ消火器を買ってもらおうよう呼びかけたい。 ○自宅に雨水をため、バケツで汲めるようなタンクを取り付けた。それくらいしか方法がない。 ●自主防災会の訓練のときバケツリレーを実際にやってみてほしい。バケツリレーしか消火方法がないことを知った上で話し合い、覚悟してもらうことも大事。
中島町内会	<ul style="list-style-type: none"> ○昨晚今年2回目の防災会議を行った。 ○災害弱者について、芙蓉台のように組の弱者は組の人で援護することを確認した。8月の自主防災訓練時に弱者を見立てて担架を使った運搬訓練も行う。黄色いハンカチも全戸に買っていただきどれだけ実施できるかということも行う。 	●組で組の災害弱者の面倒を見ようという取り組みをしている町内がある。
市長	●要援護者に関しては町内別にリストを作っている。	●福祉総務課にリストをもらいに行って欲しい。その際笛も渡しているなので、訓練時に実際に吹いて欲しい。

中自治会	○中には笛をふけない方もいる。	●そういった方には見守りが必要になる。
市長	<p>●黄色いハンカチは無事を示すもので安否確認がすぐ出来、余計な労力を使わないで済む。防災訓練に参加出来ない方は、承知していることを示すために玄関に火掲げのことを徹底して行ってほしい。</p> <p>●災害時にはまず町内で一次避難地に集まることを徹底して欲しい。その後初期消火活動、黄色いハンカチなどの安否確認、救出救助、救護活動、病院搬送、高齢者や災害弱者をサポートする、自主防災組織本部を立ち上げて活動する流れになる。</p> <p>●最終的に避難所は向山小学校体育館、錦田小学校体育館の二つがある。</p> <p>●地震が予知された場合とされなかった場合に警戒宣言が出たときも一時避難地に集まる、当然突然地震が起きたときにも一次避難地に集まる。</p>	<p>●訓練に参加した三恵台の子ども会の大西たん君が素晴らしい作文を書いているので町内全員の方に読んでもらいたい。</p> <p>●配布資料に命の守り方について書いてあるのでよく読んで欲しい。</p> <p>●災害時の市民行動計画についても確認して欲しい。</p> <p>●自分で防災ラジオやトランジスタラジオを用意して欲しい。</p> <p>●避難所は住宅が使用できない人のためにある。出来る限り自宅で生活するための食料や水の確保が必要。こういったことを町内の住民全員に理解してもらうことが大切。</p> <p>●様々な問題があることを理解してもらえたのではないかな。</p> <p>●次回のトーク時にはさらに高いレベルの話し合いが行えるようにしたい。</p>
中自治会	○市のほうで地震の揺れの方向のデータはないか。各自治体の過去の地震の方向など、どのように揺れるかわからないか。	<p>●データは特にはない。東海地震は西で発生するので一般的には東西に揺れるだろうと思われるが、縦揺れになるかもしれない。その時になってみないとわからない。</p> <p>●今回は現状の把握という段階。もう一度今日出た議論を持ち帰り、さらに話し合いを深めて欲しい。大地震が起きたときにはきずなが大切。祭りや運動会などでそれぞれの町内のきずなを深めて欲しい。</p>